

「雪の日の出来事」

副校長 岡野 隆

「この傘、使ってください。私、家ここから近いですから。遠慮しないで。ほら、風邪ひいちゃいますよ。」という女子高校生の声。寒いこの時期になるといつも思い出すことがあります。何年か前のことです。平日の午後から夜にかけての降雪により、帰宅時間帯の首都圏の交通機関が大きな影響を受けた日。今でも、つい昨日のこのように鮮明な記憶として残っている、帰宅途上の私が出合った出来事です。

私が利用する駅は、構内への入場制限のため、これから改札口に入ろうとしている利用客が改札口前のコンコースに集中し、身動きが取れない状態でした。改札口を出た私は、降車した人たちに押し流されるように、その人混みの脇にかろうじてできた通路をバスターミナルに向かって少しずつ進みました。外に出ると雪はさらにひどくなっていました。その時、一人の男子高校生の姿が私の視界に飛び込んできました。これから改札口に向かおうとしている動かない人混みの中、傘を持ち合わせていなかったその男子高校生が、白い息を吐きながら、髪の毛はもちろん、肩にも雪を積もらせたまま、寒さに耐えるようにじっと立ちすくんでいました。とその時、突然ゆっくり進んでいた私の前にいた女子高校生が、自分のさしていた傘をその男子高校生の前に差し出しました。男子高校生は、はじめは突然のことに驚き、公衆の面前ということもあってか、恥ずかしそうにうつむき、首を横に振って辞退の意思を表していました。しかし、その女子高校生は周囲を気にする様子もなく、「いいから、この傘、使ってください。こんな時はお互い様なんだから。」と言って、なかば強引にその傘の柄を握らせ、すれ違っていきました。人の流れに押し流されつつの、わずか10秒ほどの出来事でした。

小学校では道徳が教科化され6年になりますが、教科化の大きなねらいは、子供たちが道徳的な課題について、これまで以上にじっくりと考えたり、見方を広げたりできる「考え、議論する道徳」への授業改善にあります。子供たちは、道徳の授業を通して、日常の自分の行動を振り返り、このような場面では、自分ならこう行動する、このように行動すべきだ、と考えを巡らせ道徳的な価値を理解します。大切なことは、知識として理解したこの価値を日常生活の場面で具体的に行動できるようになるための原動力にすることです。

冒頭の改札口での出来事。おそらくあの女子高校生は、過去に道徳で思いやりや親切といった道徳的な価値を学んでいます。寒さや人混み、早く帰宅したいという焦り、様々な負の条件が重なる半ば極限状態に近い夕暮れのあの混雑の中で、とっさに判断し、行動することができたその瞬間の出来事だったのかもしれませんが。

2月は今年度最後のふれあい月間です。本校では、人権教育を中心にして、互いに尊重し認め合う、思いやりのある優しい心をもつ児童の育成に取り組んでいます。特に道徳の授業では、単に道徳的な価値の理解に終わらせるのではなく、道徳的実践力を育むことを目指します。「あっ、こういう時にはこう行動した方がよかったんだな。」「あっ、あの時、道徳の授業でやったことってこういうことだったんだな。」と思いを巡らせ、日常の生活の中で実践できる機会が少しでも増えることを願っています。



書き初め会

国語部

1月12日(金)に書き初め会が行われました。3～6年生は体育館で、1・2年生は教室で行いました。書き初めは、1年の初めに自分の目標や抱負を書く正月行事です。青山小学校では、毎年この時期に書き初め会を行っています。一文字一文字に自分の思いを込め、心を落ち着けて丁寧に書く姿が見られました。3～6年生は、はね・とめ・はらいなどの細部にも気を配り、じっくりと書に向き合っていました。体育館に凛とした空気が流れ、集中している様子が伝わってきました。1・2年生は、お手本をよく見て、書く文字を間違わないように、また、字形を整えながらゆっくりと鉛筆を動かしていました。一行書くたびに大きな息を吐くなど、緊張した様子で取り組んでいました。どの児童の作品も、その子なりの思いがこもった素晴らしい作品になりました。



4年生の学び

4年担任

総合的な学習の時間や社会科では、長い時間をかけて「わたしたちのごみを減らし隊」の学習に取り組んでいます。まとめの段階に入り、子供たちは、港区の区長さんに手紙を書きました。私たちの町が、ごみのポイ捨てのない町になってほしいという願いがあるからです。学習したことが日々の生活に生かされている様子が見られます。この後4年生は、いじめゼロプロジェクトを実施していきます。このプロジェクトも成功させたいと思います。



『ゼロっち』

今月の目標

生活目標 寒さに負けず元気にすごそう
 保健目標 心も体も健康にしよう
 給食目標 よい食べ方を工夫しよう

日	曜	2月の主な行事予定
1	木	安全指導 ふれあい月間 ユニセフ募金終 ☆●
2	金	学級活動 たてわり班活動
3	土	
4	日	
5	月	全校朝会 委員会
6	火	○
7	水	午前授業
8	木	1年青山館出前授業 新1年生保護者説明会 ☆●
9	金	学級活動 特別時程 午前授業(12:45下校)
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	週番の話 環境週間始(～16日) 4年タグラグビー教室
14	水	東京都公立学校美術展覧会始(～18日)
15	木	避難訓練 ☆●
16	金	委員会発表集会 4・5年伝統工芸授業 環境週間終
17	土	あすなる学級卒業・進級を祝う会 土曜授業 土曜国際
18	日	東京都公立学校美術展覧会終
19	月	全校朝会 6年能体験(給食あり) クラブ ☆
20	火	読み聞かせ ○
21	水	6年検察庁模擬裁判 午前授業
22	木	プラスバンド発表会 保護者会(1～3年14:30、4～6年15:10) ●
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	全校朝会 委員会
27	火	たてわり班活動 ○
28	水	
29	木	音楽朝会 ☆●

●○…カウンセラー来校日

☆…スクールソーシャルワーカー来校日

※予定は、変更になる場合があります。

11 住み続けられる
まちづくりを



まちたんけん～青山の街を発見！～

2年担任

2年生は5月から、「まちたんけん」を進めてきました。身近にいる人や街の様子に気づき、自分たちの地域に愛着をもったり、生活に生かしたりしていくことを目的としてきました。5月には「公共」として赤坂図書館に、6月には「自然」に関するののあおやまに見学に行きました。また、ののあおやま主催の地域プロジェクトに参加し、工事予定地の囲い壁にペインティングをしてきました。10月には「自然」として青山公園に、11月と12月には「生活(お店)」として青山紅谷、但馬屋、すこやか本舗に見学に行きました。それぞれ見学の前には、「その場所について知っていること」「見てきたいこと」「聞いてきたいこと」をみんなでお話し、目的をもって学習に取り組んできました。実際に行ってみると、これまで知らなかった発見がたくさんあり、「初めて知った。」「びっくりした。」「すごいと思った。」という感想がたくさん聞かれました。まちたんけんで行ったところにおうちの人と一緒にもう一度出掛けてみる児童も多くいました。自分たちの住んでいる街に親しみを持ち、より身近に感じることができました。これからまちたんけんのまとめを行い、まとめで作った資料は3月末に「ののあおやま」で展示をしてもらう予定です。



年度末(3月末)までの転校予定に関する情報提供のお願いについて

来年度の学級数を確定する上で、今年度末(3月31日)時点での児童数をできるだけ正確に把握する必要があります。現在の1年生から5年生のお子さんと3月末までに転校する予定や可能性がある場合には、以下の通り、担任を通してお申し出いただきますようお願いいたします。現時点での見込みなど、分かる範囲で結構です。

【お申し出期限】令和6年2月5日(月)

※なお、お申し出期限以降でも、転校の予定が分かった時点で、できるだけ早めにお知らせいただきますようご協力をお願いいたします。

1月 青山小 生活の様子

1年 書き初め



3年 クラブ見学



3年 社会科見学



2年 あいさつ運動



5・6年 たてわり班活動引継ぎ

